方の損害大、直ちに連隊主力同地に急行、高地一帯に吹きまくる火炎放射と近代兵器に連隊は全滅に瀕す、同夜１１時脱出連隊本部に帰還せるもの連隊長以下重軽傷併せて２０数名

６月１８日　残存兵力を以つて６６高地洞窟に後退す

６月２１日夜　陛下万歳を三唱部隊解散

６月２２日朝　新垣よりの敵に応戦中後方面より進入し来れる敵の手りゅう弾及び火炎放射により部隊長戦死す

沖縄作戦に於ける野戦砲兵第４２連隊史実資料

昭和２２年３月２５日
第３２軍残務整理部

1．部隊の履歴（沖縄進駐までの履歴）

（1）部隊名　第２４師団　野戦砲兵第４２連隊（満州第７９５部隊）
（2）所在地　満州東安省西東安
（3）創立　昭和１４年１０月６日

昭和１９年

３月２０日	第３大隊動員下令　サイパン方面に出動
７月　６日	野砲兵第４２連隊動員下令
１７日	西東安出発
２１日	図門経由釜山出帆
２７日	下関到着
８月　１日	門司港出帆　（暁空丸）
５日	沖縄県那覇港到着

2．部隊の作戦開始時の編成（昭和２０年３月現在）

連隊本部

連隊長	西沢勇雄大佐	副官	沢山大尉
指揮班長	山崎少佐	兵器係	館木少尉
連絡係	大益大尉	無線係	福田少尉
主計	野々上大尉	獣医官	岩崎中尉
通信係	小紙中尉		
軍医	矢野大尉		

指揮班　観測、通信、し重、　総員約　８０名
連隊団列　長　新嘗大尉　総員約１４０名

第１大隊本部

大隊長　藤井少佐
指揮班　長　笠原中尉　総員約　８０名

大隊段列　長　村山中尉　総員約　８０名
第１中隊　長　相田大尉　総員約１４０名
第２中隊　長　志田大尉　総員約１４０名
第３中隊　長　北林大尉　総員約１４０名

第２大隊本部
大隊長　安達大尉
指揮班　長　春山中尉　総員約　８０名
大隊段列　長　山口中尉　総員約　８０名
第４中隊　長　和田中尉　総員約１４０名
第５中隊　長　桑原大尉　総員約１４０名
第６中隊　長　水上中尉　総員約１４０名

第３大隊本部（元４大隊）
大隊長　作間少佐
指揮班　長　能登中尉　総員約１００名
大隊段列　長　桑田中尉　総員約１００名
第７中隊　長　笠原大尉　総員約１６０名
第９中隊　長　土門大尉　総員約１６０名

海軍砲台大隊
大隊長　仁位少佐
指揮班　長　村永中尉　総員約　８０名

第７砲台
第１中隊　長　戸成海軍少尉
第２中隊　長　橋本海軍少尉　総員合計　約１００名

第８砲台　長　安田中尉　総員　約　８０名

３．指揮隷属・配属関係
（1）作戦開始前　第３２軍第２４師団に隷属
第４中隊は３４７４（２２ｉ）に配属
第１中隊は３４７５（３２ｉ）に配属
（2）作戦開始後　同左、但し第２大隊（５，６中隊）は４月１１日より４月２５日まで軍砲兵司令部に配属せらる

４．戦闘経過の概要
４月１１日　第２大隊（除く４中隊）首里の線に転進６２Ｄに協力　大隊本部観測所は弁ケ嶽、５，６中隊放列陣地　運玉森東（西？）南方凹地
４月２５日　連隊主力（連本、１大、３大、４大）首里の線に転進
連本観測所　識名　４月２９日首里北方砲兵山に移動
２，３大隊観測所　弁ケ嶽
１大隊観測所　運玉森
４大隊観測所　島尻平良

１，３大隊放列陣地は南風原、大名付近
２大隊は前に同じ
４大隊放列陣地は島尻平良
５月１０日　５中隊陣地新川に移動
５月２３日　連隊本部首里城跡に移動す
５月２９日　連隊主力島尻地区へ撤退す
連隊本部、第１大隊本部、第４大隊本部新垣に陣地を占領
第１大隊本部放列陣地新垣付近
第２大隊本部与座嶽放列陣地与座嶽南方台地
第３大隊本部及び観測所真壁
第４大隊火砲全部破壊
６月２０日　連隊内の連絡本日を以つて途絶せり
６月２２日　連隊本部のみ更に真壁に移動
最後の詳細なる状況不明なるも概ね右陣地に於て最後まで戦闘を続

行せるも第２大隊は６月１９日火砲全部破壊せられ戦闘力を失う他の大隊は６月２２日までに大体戦闘力を失う

沖縄作戦における工兵第２４連隊史実史料（２４Ｐ）

昭和２２年３月２５日
第３２軍残務整理部

沖縄進駐前の履歴の概要

１．昭和９年４月独立混成旅団工兵中隊として編成せられ満州公主嶺に駐屯す（其の間同地付近の警備並びに北支事変に参加）
２．昭和１３年３月部隊は２ケ中隊に改編せられ独立混成旅団工兵隊と改称せらる（部隊長川村大佐）
３．昭和１３年７月第１中隊（中隊長　安藤進大佐）を騎兵第４旅団の指揮下に入らしめ北支中支に派遣す
４．昭和１３年ノモンハン事件に依り第２中隊（当時安岡兵団の指揮下にあり）出動
５．昭和１４年１２月部隊は第２４師団編成と共に工兵第２４連隊と改称せられノモンハン事件終局するや満州国東安省東安に移駐同地に於て国境警備に服す（部隊長　沼崎恭平大佐）
６．昭和１５年５月北支派遣中の第１中隊（北支派遣騎兵旅団編成改正過剰人員）は工兵第２４連隊に原隊復帰をなす
７．同年部隊編成改正にともない甲装備に編成せらる
８．昭和１６年３月児玉咏光大佐補職せらる
９．昭和１９年７月６日部隊に動員下令
１０．同年7月１３日東安省東安出発、７月１９日小倉着、昭和１９年８月１日門司湊出発、同月５日沖縄那覇港に上陸せり

部隊戦闘開始時の編成

工兵第２４連隊編成

長	陸軍大佐	児玉咏光	第１中隊長	陸軍中尉	江井　全
副官	陸軍中尉	加藤廣一	第２中隊長	陸軍中尉	中山四加次
教育主任	陸軍中尉	堀口　博	第３中隊長	陸軍中尉	江渕　隆